

内閣参質一六三第四号

平成十七年十月七日

内閣総理大臣 小泉純一郎

参議院議長 扇 千 景殿

参議院議員喜納昌吉君提出アメリカ海兵隊普天間航空基地の代替基地建設に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

○

参議院議員喜納昌吉君提出アメリカ海兵隊普天間航空基地の代替基地建設に関する質問に対する答弁書

一から四について

我が国に駐留するアメリカ合衆国軍隊（以下「在日米軍」という。）の兵力構成の見直しに関するアメリカ合衆国側との協議においては、在日米軍の抑止力を維持しつつ、沖縄等地元の負担の軽減を図るとの観点から協議を進めてきているが、個別の施設及び区域についていかなる決定も行われておらず、当該協議の内容について申し上げられる段階にない。

御指摘の沖縄に駐留する海兵隊については、高い機動力、即応性等を通じ、在日米軍の重要な一翼を担っており、我が国及び極東の平和と安全の維持に寄与していると認識している。

